

平成30年度

ほおの木っ子

喜多方市立第二小学校 学校だより
平成30年7月10日(火) 第18号
発行責任者 校長 石田 秀喜

<笑顔いっぱい/元気いっぱい/夢いっぱい ~やり続けて本物にしよう・こつこつがコツ!~>

ただ「がんばれ!」では がんばれないときも・・・



私たち大人が、子どもたちにかけることが多い言葉に「がんばれ」があります。水泳記録会で、足がつきそうになりながらも50mを泳ぎきろうとしている子どもや、マラソン記録会で、わき腹を押さえながらも、まだ遠いゴールを目指して懸命に走っている子どもの姿を見ると、思わず「がんばれー」という言葉をかけたくなります。そして、その言葉を励みに、子どもたちも力を振り絞ってがんばることができます。

一方で、子どもたちには、「がんばれ」の言葉に答えられないときもあります。「もっとがんばりなさい!」「どうしてがんばれないの?」と何度言われても、どうしようもないときがあります。何のためにやるのか、何をどうがんばればいいのか分からないからです。



多くの場合、怠けているのではなく、がんばり方が分からないのです。そんなときは、子どもの様子をよく観察し、悩みや困り感に耳を傾け何につまずいているかを子どもとともにはっきりとさせながら、その解決法やがんばり方を一緒に考えてあげることが必要なのかもしれない。



(本校の先生方は、このようなことを踏まえて指導をしています。)

「人権の花運動」に参加



本年度、本校では「人権の花運動」に参加しています。これは、人権擁護委員の皆さんからいただいた花の苗を、子どもたちが協力し育てることによって生命の尊さを実感し、その中で豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を体得することを目的として行っているものです。

「人権とは、人がいつも楽しく、元気に過ごす権利」ということを、昨年度人権教室で学びました。いじめを含め、人権を脅かすような言動を自分は(自分たちは)していないかいつも気を付けて過ごしたいものです。そうした教育を今後も大切にしていきます。

遠足・宿泊学習・修学旅行での子どもたちの素敵な姿・・・



これまで、5月には、1～3年生が遠足に、6月には、6年生が修学旅行、4年生が宿泊学習にそれぞれ行ってきました。そして明日は、5年生が宿泊学習のためいわきに向かいます。

こうした校外学習の中でも、子どもたちの素敵な姿を数多く見ることができます。

遠足では、遊具の順番を譲ってあげたり、忘れ物をした友達にやさしく声をかけ貸してあげたりする姿が。また宿泊学習では、班ごとに教え合い、助け合う姿がいろいろな場面で見られました。修学旅行の仙台市内班別研修では、班長を中心に事前に立てた計画をもとに行動できました。途中ハプニングが起きても何とか自分たちで解決できました。こうした子どもたちの自主性や自発性を伸ばす機会と場を今後も意図的に設定していきます。